

社会資本総合整備計画 事後評価書														令和05年01月12日	
計画の名称	八幡市における次世代に引き継ぐ水環境の保全施設事業（第2期）														
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	八幡市														
計画の目標	八幡市においては、全市域を下水道で整備すべく事業の推進を行ってきた結果、平成25年度末で人口普及率が99.9%となり、整備事業の完了に近づいています。今後も人口普及率100%をめざすとともに、近年の豪雨による浸水被害の軽減を図ることにより次の世代にこの水環境の保全施設を引き継いでいく。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,300	A	1,298	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0.15	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	幹線道路整備に伴って下水道の整備を進める。			
	府道八幡インター線下水道整備 L=1,968m（整備済 L=466m） 整備済み延長（m）／計画延長（1,968m）	24%	100%	100%
2	幹線道路整備に伴って下水道の整備を進める。			
	国道1号下水道整備 L=3,190m 整備済み延長（m）／計画延長（3,190m）	0%	50%	100%
3	雨水施設の増強や流出抑制施設の整備を進める。			
	雨水地下貯留施設5箇所設置 整備済み施設数（箇所）／計画施設数（5箇所）	0%	50%	100%
4	雨水施設の増強や流出抑制施設の整備を進める。			
	管渠の整備、水路の拡幅等 L=1,018m 整備済み延長（m）／計画延長（1,018m）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

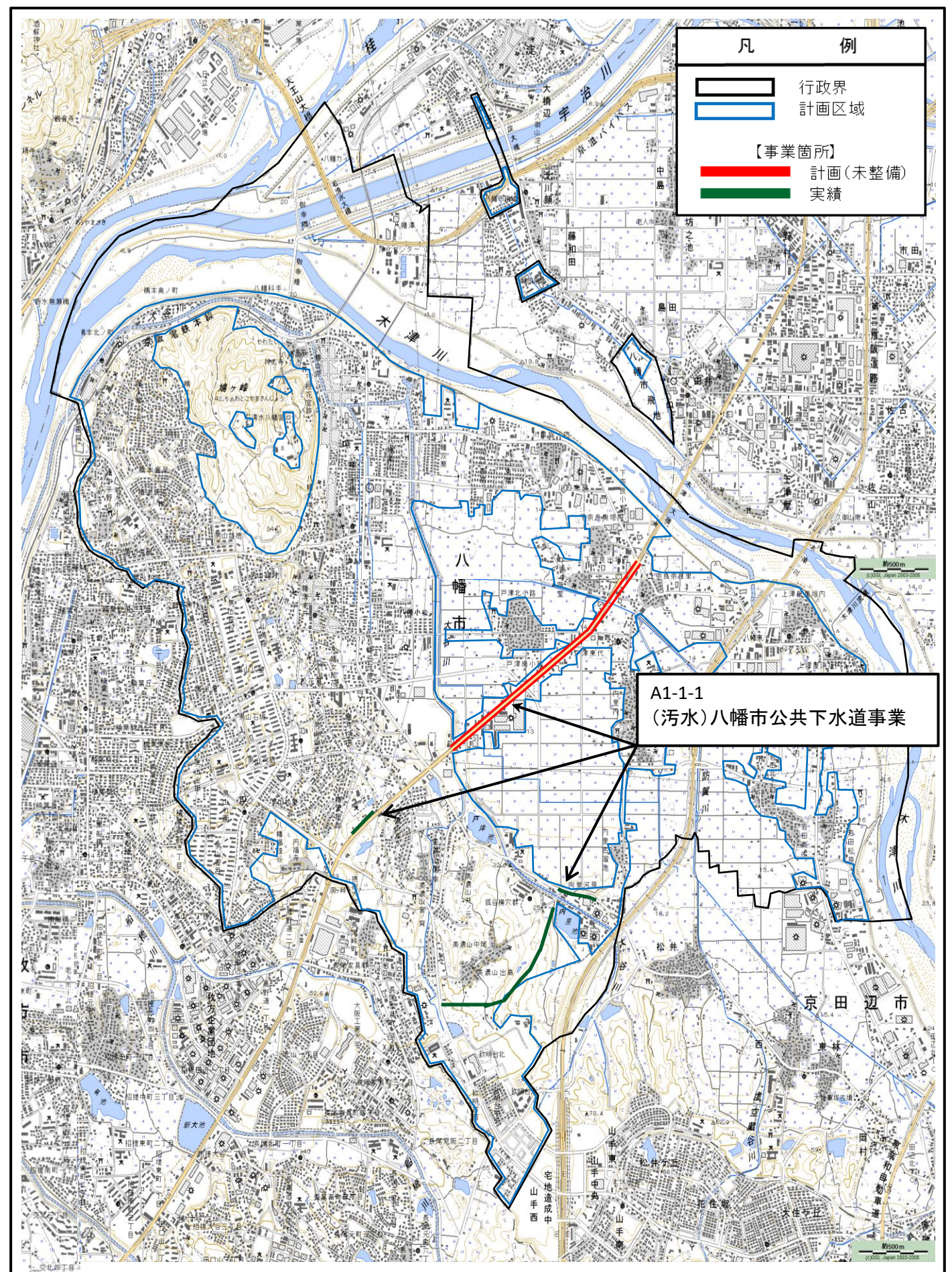
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	八幡市	直接	八幡市	管渠（ 污水）	新設	八幡市公共下水道事業（ 洛南処理区）	污水管φ250 L=5.2km	八幡市	■	■	■	■	■	112		－	
	A07-002	下水道	一般	八幡市	直接	八幡市	管渠（ 雨水）	新設	八幡市公共下水道事業（ 洛南処理区）	雨水地下貯留施設5箇所・管 渠整備，水路拡幅等L=1.0km	八幡市	■	■	■	■	■	1,186		－	
											小計							1,298		
											合計							1,298		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	八幡市	間接	個人	管渠（ 雨水）	新設	八幡市公共下水道事業（ 洛南処理区）	各戸貯留施設設置補助	八幡市	■	■	■	■	■	2		—
		浸水被害の軽減及び雨水の有効利用																	
											小計						2		
											合計						2		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
八幡市上下水道部において実施	令和4年度
	公表の方法
	市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・道路整備に伴い下水道工事を行った区域において処理人口普及率の向上に寄与し、生活環境の整備と公共用水域の水質保全を図ることができた。 ・雨水地下貯留施設の設置について、当初5箇所の計画に対し、2箇所設置となり実績値は40%となる。雨水地下貯留施設を設置した排水区域においては豪雨時の流出抑制を行うことができ、浸水被害の軽減や回避を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・事業計画区域内の未整備区域においては、市内全域の整備を目標に事業を進める。 ・引き続き、雨水施設の増強や流出抑制施設の整備を進める。	

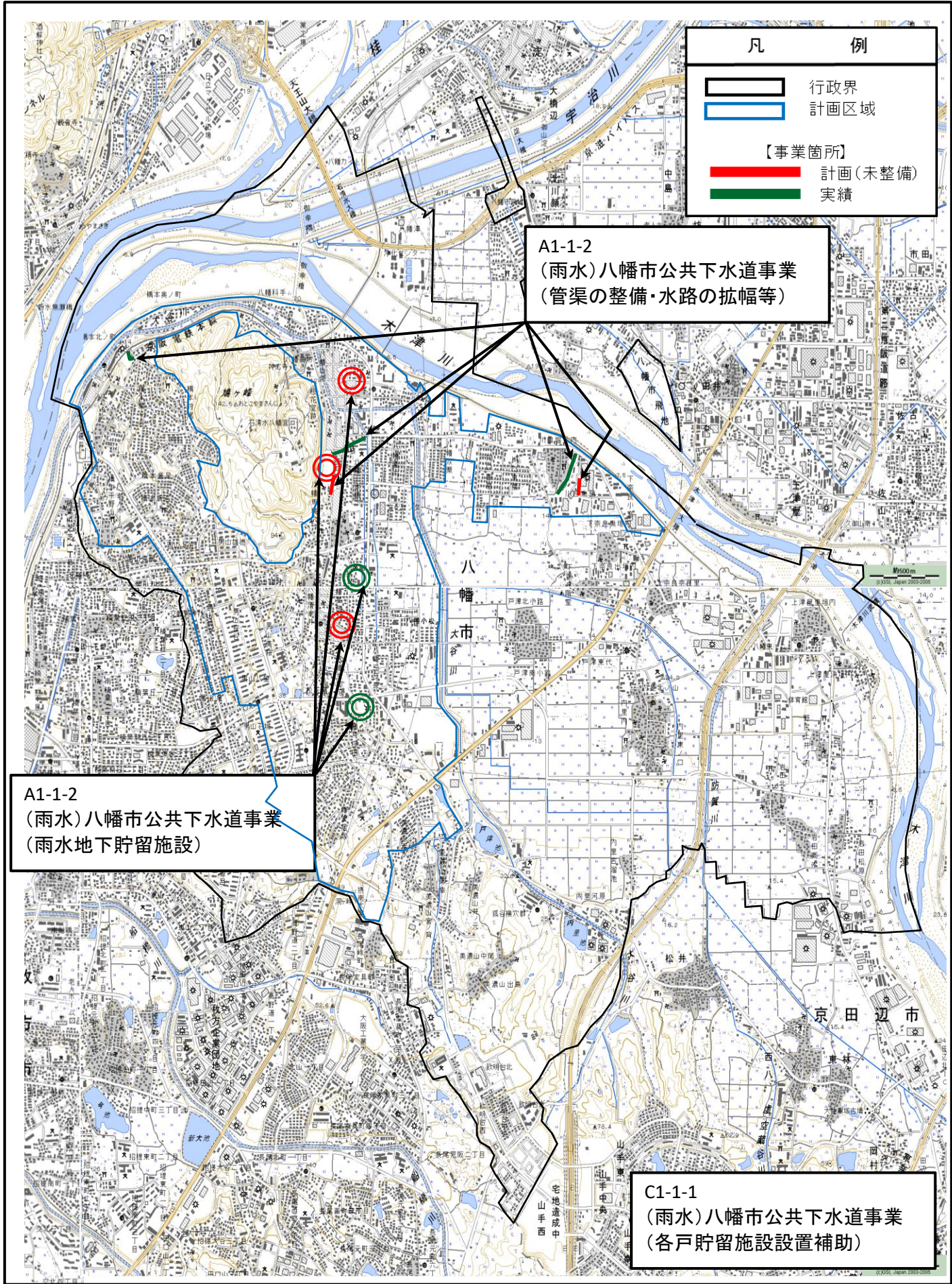
○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	幹線道路整備に随伴して下水道の整備を進める。		
	最 終 目標値	100%	道路整備に随伴した下水道整備を計画通り実施することができた。
	最 終 実績値	97%	
2	幹線道路整備に随伴して下水道の整備を進める。		
	最 終 目標値	100%	道路整備の進捗に合わせて下水道整備を行うため整備範囲が限定的となり、目標達成には至らなかった。
	最 終 実績値	8%	
3	雨水施設の増強や流出抑制施設の整備を進める。		
	最 終 目標値	100%	雨水地下貯留施設の工事内容を現場状況に応じて変更したことに伴い工期延長を行ったため、2箇所の設置にとどまり目標達成には至らなかった。
	最 終 実績値	40%	
4	雨水施設の増強や流出抑制施設の整備を進める。		
	最 終 目標値	100%	実施可能な整備を精査して進めたことにより、整備箇所や整備時期について5ヵ年計画との差異が生じ、目標達成には至らなかった。
	最 終 実績値	20%	

計画の名称	八幡市における次世代に引き継ぐ水環境の保全施設事業（第2期）		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	京都府 八幡市



(注) 事業番号は、計画図書において付番した番号となります。

計画の名称	八幡市における次世代に引き継ぐ水環境の保全施設事業（第2期）		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	京都府 八幡市



(注) 事業番号は、計画図書において付番した番号となります。